

3代目長崎県庁舎

Photo of the 3rd Nagasaki Prefectural Office (1911.4.25-1945.8.11)

古写真にみる県庁舎跡地

The Former Site of the Nagasaki Prefectural Office in Historical Photos



落成式の盛況<『長崎県庁舎並県会議事院工事沿革紀要』>
(長崎歴史文化博物館収蔵)

撮影時期：明治44年(1911)5月16～18日頃

*正面には「祝落成」と書かれた門が作られ、一般観覧が行われた。

庁舎が古く手狭となり、明治40年(1907)7月、県庁舎・
県会議事院を起工。明治43年(1910)12月1日、県会
議事院が完成。翌44年(1911)4月25日に県庁舎も完
成し、5月25日に開庁しました。

東京駅などの設計で知られる日本近代建築の父・辰
野金吾(1854-1919)を工事顧問に迎え、その指導を受
けた山田七五郎(1871-1945)の設計によるルネッサン
ス様式レンガ造りの建物で、本館は3階建て総面積
5,519㎡、県会議事院は2階建て総面積1,438㎡。工
費は557,500円でした。

しかし、昭和20年(1945)8月9日の原子爆弾投下後
の火災で県庁舎・県会議事院ともに焼失しました。



<絵葉書・(長崎名所) 長崎県庁>(個人蔵)

発行年：昭和初期/昭和8年(1933)以降

*写真右端には、長崎警察署(1923年完成、旧第3別館)
も見える。



原爆後の火災で焼失した3代目庁舎

82. 長崎県庁正面『原爆記念写真帳』(長崎県所蔵)

撮影時期：昭和20年(1945)8月20日～9月30日

撮影者：小川虎彦(小川写真館)